

子供版森林教室  
「森林の種を学ぶ」

日時 9月30日 木曜日

内容 午前、活動地で小中学生の種拾い。ミズナラ(ドングリ)を主体にダケカンバ、イタヤモミジ、ハンノキの種を拾う。中学生(三年生)は植物の無性繁殖、ハリギリ根差しを体験した。

また、午後は定山溪の森林や川をラジコン・ヘリコプターから空撮し、森林の生物多様性をモニターで観察  
〔樹木の無性繁殖を中学生が体験〕  
ハリギリ根差し



拾った種を樹種ごとに分別



北海道育種場、高倉氏の樹木の無性繁殖についての説明を聞き入る



作業開始



ハリギリ根差し方法の説明を受ける



簡単な作業なので短時間で終了



# ハリギリ根差し

## 〔樹木の無性繁殖〕

### 定山溪のハリギリ(センノキ)

ハリギリ(針桐)は、ウコギ科の落葉広葉樹。幹は直立し、高さ25m以上の高木となる。

日本全土、北海道、朝鮮半島・中国の山地に分布する。

- ・若木は枝や樹幹にとげがある。・幹の樹皮に深く縦に入った筋(裂け目)がこの樹木の特徴。
- ・葉は掌状に5~9裂し、カエデのような姿で長さ10~30cmと大きく、天狗の団扇のような形をしている。
- ・秋には黄褐色に黄葉する。・7月頃、黄緑色の小花が球状に集まったものが傘状につき、藍色の丸い果実を結ぶ。

肥えた土地に自生するので、開拓時代はこの木が農地開墾の適地の目印であった。その為、北海道には大きな木が多く、明治末には下駄材として本州に出荷された。国内産の栓の9割は北海道産である。



根の状態



根の切除



切除した根

この状態で一本づつ土中へ埋める



〔実演〕

(独)森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場